

# 総 説

## 1. 職員現員数

57. 3. 31 現在

区 分	総務課	漁場 開発科	海 洋 資源科	境港分場	試 験 船	
					第 1 鳥取丸	第 2 鳥取丸
場 長	1					
課・科・分場長	1	1	1	1		
主任・主事	1					
専門技術員	1					
運転士(自動車整備士)	1					
研 究 員		2	2	1		
船舶乗組職員					13	4
計	5	3	3	2	13	4

## 2. 事務分掌

57. 3. 31 現在

	職 名	氏 名	分 掌 ・ 事 務
	場 長	兜 金 幸 男	場の総括
総 務 課	課 長	岡 村 恵 太 郎	人事・予算・庶務等の総括
	主 任	牧 野 節 子	給与・文書・経理
	自動車 整備士	博 田 則 義	公用車の運転・管理
	専 門 技術員	井 上 忠 雄	水産業改良普及活動の指導・沿岸漁海況・漁場環境調査
漁場開発科	科 長	小田切 忠 夫	浅海漁場開発・海域総合開発調査等科の総括
	研究員	松 本 勉	内水面増殖試験・魚病研究試験
	"	渡 部 俊 明	沿岸漁場造成・大規模増殖場造成
海洋資源科	科 長	野 沢 正 俊	沿岸資源生態・浮魚礁試験等科の総括
	研究員	西 田 輝 己	餌料生物・人工礁漁場造成事業・海洋牧場開発調査
	"	山 本 達 雄	白イカ資源開発・日本海ズワイガニ増殖技術試験
境 港 分 場	分場長	佐 野 茂	200カイリ水域内資源・底魚漁場調査等分場の総括
	研究員	川 口 哲 夫	沖合漁海況・新漁場開発・浮魚漁場調査

	職 名	氏 名	分 掌 事 務
第 1 鳥取丸	船 長	前 田 勝 美	第 1 鳥取丸の運航・維持管理
	機関長	大 西 宏 好	" 機関管理
	航海士	小 谷 弘 文	" 漁労機器等の維持保全
	"	川 西 恒 信	" 乗組
	機関士	浜 田 利 幸	" "
	"	宮 脇 富 士 男	" "
	通信士	松 本 仁	" 無線機器等の維持保全
	船 員	宇 野 巍	" 乗組
	"	吉 沢 盛 夫	" "
	"	山 下 秀 実	" "
	"	岩 崎 光 真	" "
	"	森 脇 隆 志	" "
第 2 鳥取丸	船 長	早 野 一 成	第 2 鳥取丸の運航・維持管理
	機関長	堀 芳 明	" 機関管理
	機関士	田 中 洵	" 漁具等の維持保全
	航海士	沢 富 一	" 船内電気機器等維持保全

### 3. 事業別予算（昭和 56 年度当初）

事 業 名	予算額（千円）	摘 要
水産試験場費	88,385	
管理運営費	10,923	
一般管理費	10,923	単県
試験研究費	62,685	
資源生態調査費	11,279	
沿岸重要資源生態調査費	572	単県
200カイリ水域内漁業資源調査費	4,199	国委 $\frac{10}{10}$
海洋牧場開発調査費	4,500	国委 $\frac{10}{10}$
白イカ資源開発利用研究費	2,008	国補 $\frac{1}{2}$

事業名	予算額 (千円)	摘要
漁場環境調査費	3,806	
沖合漁海況調査費	2,130	国補 $\frac{1}{2}$
沿岸漁海況調査費	811	単県
餌料生物調査費	865	単県
漁場開発試験調査費	44,423	
浮魚礁設置技術開発試験費	20,236	国委 $\frac{10}{10}$
浮魚漁場調査費	9,357	{ 単県 財産 収入
底魚漁場調査費	6,688	{ 単県 財産 収入 国委 $\frac{10}{10}$
沿岸漁場造成技術開発試験費	1,566	{ 単県 国委
新漁場開発試験調査費	6,576	{ 単県 財産 収入
増養殖技術開発試験費	3,177	
魚病対策試験費	433	単県
養殖業試験費	584	単県
日本海ズワイガニ増殖技術開発試験研究費	2,160	国補 $\frac{1}{2}$
船舶維持費	14,777	
第1鳥取丸維持管理費	11,320	単県
第2鳥取丸維持管理費	3,457	単県